

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月17日更新

事務事業名		小中学校運営事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	青木 洋治	
	施策	19	義務教育の充実		所属課	学校教育課	担当者名	斉藤 明子	
	基本事業	66	教育施設の整備		所属班	学務指導班	(内線)	2225	
予算科目		会計一般	款 10	項 1	目 3	事業連番 10728 他	法令根拠	学校教育法	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ③
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	耐震基準を満たした学校施設の割合特になし【事業の内容】 小中学校運営に必要な経常的維持運営を行い、教育活動を効果的に実現するもの。 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)
【業務の流れ】	【業務の流れ】 一般用消耗品、管理用消耗品、その他消耗品、普通旅費、光熱水費(電気・水道・ガス・灯油他)、備品・機器補修、通信運搬費(電話・インターネット)各種検査手数料、クリーニング手数料、楽器調律手数料、廃棄処理手数料、薬物処理手数料、消火器詰替え手数料、グリスアップ清掃手数料、ソフト更新手数料、ろ過フィルター交換手数料、各小学校の印刷機、コピーリース、車借上げ料、ルーター借上げ料、駐車料、放送受信料、管理用備品購入等見積・契約・支払い事務
【主な予算費目】	旅費、需用費、役員費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費
【意見や要望】	特になし 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	小中学校の経常的維持運営に必要な消耗品購入等の事務を行い、教育活動を効果的に実現した。	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 小中学校の経常的維持運営に必要な消耗品購入等の事務を行い、教育活動を効果的に実現する。小学校指導書・指導教材の購入。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) % → ア 小学校における予算執行率 % イ 中学校における予算執行率 %	予算の主な増減の理由 小学校が4年に一度の教科書改訂年になることで、指導書・教材の購入が必要になるため。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市立小学校7校、市立中学校3校	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 校 → ア 市内小学校数 校 イ 市内中学校数 校
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	学校維持運営に必要な、消耗品等購入、機器のリース、各種手数料等について効果的・効率的に執行し円滑な学校維持運営を行い、教育活動の効果的な実現を図る。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) % → ア 学校の教育環境が整っていると感じる児童の割合 % イ 学校の教育環境が整っていると感じる生徒の割合 %
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 小中学校の維持運営に必要なものを用意し、教育環境を整えるため。		

(2)各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	
①活動指標	ア %		91.2	91	96	94.3	96	96	96	
	イ %		97.1	91.4	96	96.9	96	96	96	
②対象指標	ア 校		7	7	7	7	7	7	7	
	イ 校		3	3	3	3	3	3	3	
③成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	
	イ %		100	100	100	100	100	100	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円			342	341	2,034	2,000	2,000
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	一般財源	千円	119,616	119,764	134,490	126,088	158,180	163,000	164,000
		(A)事業費計	千円	119,616	119,764	134,832	126,429	160,214	165,000	166,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	72,880	72,515	72,515	2,801	280	280	280
人件費	正規職員従事人数	人	14	14	14	5	5	5	5	
	延べ業務時間	時間	18,220	18,220	18,220	680	680	680	680	
トータルコスト(A)+(B)	千円	192,496	192,279	207,347	129,230	160,494	165,280	166,280		

総トータルコスト
全体計画
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)
0

事務事業名	小中学校運営事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	----------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (SEE) *原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/>達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/>目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 学校において必要とされるものを購入していく
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/>向上余地がない ⇒【理由】 成果の向上余地はないが、現状を維持していくためには事業の継続は必要である
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/>他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/>削減余地がない ⇒【理由】 光熱水費・・・節電、節水等の徹底消耗品費・・・統一単価契約や一括契約等による削減
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/>削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の業務時間であり削減余地はない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/>公平・公正である ⇒【理由】 この事業により特定の個人又は団体が利益を得るものではない
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/>役割分担は適正である ⇒【理由】 市が独自に支出している

3 評価結果の総括 (SEE) *事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

引き続き、小中学校の経常的維持運営に必要な消耗品購入等の事務を行い、教育活動を効果的に実現していく必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						